

財政運営プログラム進捗状況



平成28年3月
薩摩川内市
総務部財政課

財政運営プログラムの定期的見直し



平成27年度から地方交付税における合併特例措置の段階的縮減が始まりましたが、国においては、市町村の姿に対応した交付税算定見直しが実施され、その縮減幅が緩和されてきているものの、今後においては、歳出効率化に向けた基準財政需要額の見直しが予定されております。

また、市税につきまして、これまでの税制改正や経済情勢の変化等により増加してきております。

このような変動要素がある中で、平成29年4月に予定されている地方消費税率の引き上げや、今後策定予定の公共インフラ等の長寿命化計画や総合戦略等の新たな需要の動向も見極める必要があります。

今年度においては財政運営プログラムの見直しを見送りましたが、プログラム策定後4年を経過することもあり、来年度においては、これらの動向を反映したプログラムの見直しに向けて内部検討に入る予定としております。

財政運営プログラム5つの柱進捗状況



プログラムに示してあります5つの柱

- 1 人件費の削減
- 2 施設の統廃合
- 3 普通建設事業費と維持補修費の規模見直し
- 4 事業見直し
- 5 成長戦略の展開

についてのこれまでの取組状況及び平成28年度当初予算編成時の取組状況について報告いたします。

財政運営プログラム5つの柱進捗状況



1 人件費の削減

◆目標◆ 平成32年度までに「人件費（決算額）：約10億円減」

■これまでの取組状況

平成26年3月31日に「第3次定員適正化方針」を策定し、平成32年4月時点の全職員数の目標値を1000人以内としました。

ここでは、消防局と診療所について現定数（消防局：148人、診療所：39人）を基本とし、一般職員を813人以内としております。

目標達成のための方策として、引き続きアウトソーシングに取り組むとともに、新たな公共サービスの導入の研究を行います。また、組織・機構の見直しについても取り組んでまいります。

□平成28年度当初予算編成時取組状況

人件費については、**対前年度約2.1億円の削減**を見込んでおり、これまでの累計で**約6.7億円の削減**を見込んでいます。

なお、職員数については、**対前年度24名の削減**を見込んでおり、これまでの累計で**100名の削減**を見込んでいます。

財政運営プログラム5つの柱進捗状況



2 施設の統廃合

- ◆目標◆ 平成32年度までに「保有施設数：165施設減」
「施設管理経費（決算額）：約4億円減」

■これまでの取組状況

平成25年2月に「薩摩川内市公有財産利活用基本方針に基づく財産仕分け・利活用方針」を策定いたしました。

この中で、財産仕分け・利活用方針に関する基本的な考え方や、区分別処分財産等を示し、現在施設管理に要する管理経費の削減に努めているところです。

また、公共施設マネジメントを具体的に展開していくため、平成27年5月に「薩摩川内市公共施設白書」を公表しました。

なお、平成28年度には、将来の人口推計や財政収支の見込み、施設の比較指標等に基づき「公共施設再配置計画」を策定し、その後、公共施設の再配置や機能集約による施設維持管理経費の削減や、長寿命化による施設改修費用の平準化を図ってまいります。

□平成28年度当初予算編成時取組状況

平成27年度中に、里交流センター甕島館や東郷温泉ゆったり館等の無償譲渡、入来高齢者福祉センターや藺牟田池自然公園キャンプ場等の解体について方針が決定されたことにより、33施設、約0.9億円の削減が見込まれます。

これにより、累計72施設、約2.0億円の削減が見込まれます。

財政運営プログラム5つの柱進捗状況



3 普通建設事業費と維持補修費の規模見直し

○ 平成27年度までに終了する事業

課名	事業名
都市計画課	川内駅周辺地区土地区画整理事業
都市計画課	一般国道3号線御陵下地区景観整備事業
建設整備課	横馬場田崎線道路改良事業
建設整備課	久見崎公園整備事業
上水道課	入来温泉施設整備事業
防災安全課	防災行政無線デジタル化整備事業
消防総務課	消防庁舎建設事業
消防総務課	消防救急無線デジタル化整備事業
教育総務課	小中学校耐震化事業
教育総務課	小学校特別教室棟新增築事業(永利)

○ 新たな事業

課名	事業名
防災安全課	総合防災センター施設整備事業
企画政策課	樋脇グラウンド・ゴルフ場整備事業
教育総務課	東郷地域小中一貫校整備事業

○維持補修費については、内水対策や橋梁、公園等について、長寿命化計画と現状をみながら優先順位を付けて取り組んでいきます。

※それぞれの年次事業展開は、普通建設事業費と維持補修費で確保できる事業規模の枠内において、バランス調整を図りながら行っていきます。

財政運営プログラム5つの柱進捗状況



4 事業見直し

◆目標◆ 平成32年度までに「事業見直し効果額：約6.9億円減」

■これまでの取組状況

平成27年度当初予算編成から、組織を横断的に見通せる行政経営システムを導入したことに伴い、プログラム策定時と異なる視点で事業見直しを行うとともに、事務事業評価を効果的に行うことで、限られた資源で最大限の事業を展開することを目指していきます。

□平成28年度当初予算編成時取組状況

平成28年度から本土地域の簡易水道を上水道に統合することによる簡易水道事業への繰出金の削減、条例改正による社会教育委員の削減等、**49事業の見直し**により、**約0.8億円の削減**が見込まれます。

そのため、これまでに**延べ200事業**、**累計約4.4億円の削減**が見込まれます。

財政運営プログラム5つの柱進捗状況



5 成長戦略の展開 ～総合戦略へ継承～

■これまでの取り組み状況

これまで推進してきた「成長戦略」は、第2次総合計画の基本理念、施策体系等を踏まえ人口ビジョンにおいて整理した地域課題と目指すべき将来展望を実現するため、①雇用②移住③結婚・出産・子育て④地域づくりの4分野からなる施策を、集中的かつ効果的に展開する目的で策定された「総合戦略」に継承し展開していきます。

□平成28年度当初予算編成時取り組み状況

総合戦略と位置づけた事業49事業（16.3億円）を展開していきます。

分
野
別
主
な
事
業

生き生きと働くまち薩摩川内【雇用】 ～薩摩川内で働く～

- ・六次産業化支援事業補助金
- ・産業支援センター運営事業
- ・新卒者等就労促進事業

暮らしたいまち薩摩川内【移住】 ～薩摩川内で暮らす～

- ・地域おこし対策事業
- ・定住支援センター運営事業

子育てするなら薩摩川内【結婚・出産・子育て】 ～薩摩川内で育てる～

- ・子ども医療費助成事業
- ・保育所運営事業（多子世帯の保育料負担軽減）
- ・児童福祉施設整備事業

豊かに暮らす薩摩川内【地域づくり】 ～薩摩川内をつくる～

- ・地球にやさしい環境整備補助金
- ・災害情報共有システム構築事業
- ・地区コミュニティ活性化事業